

NEW

Visual Studio.NET/.NET Framework関連ツール新製品レビュー

PRODUCTS



FALCON for .NET

.NET対応ホスト端末エミュレータ。
ホストデータをWebサービスとして取得可能



問
合
先

株式会社インターコム

TEL : 03-3839-6370

URL : <http://www.intercom.co.jp/fal/index.html>

FAX : 03-3839-6233

MAIL : falcon@intercom.co.jp

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Environment

サーバー環境

Windows 2000 Server/Advanced Server
Windows Server 2003
IIS5.0以上
IE5.01以上

クライアント環境

Windows 98以降
IE5.01以上

価格

FALCON3270 for .NET :
700,000円 (10ライセンス) ~
FALCON6680 for .NET :
700,000円 (10ライセンス) ~
FALCON5250 for .NET :
700,000円 (10ライセンス) ~
FALCON560 for .NET :
700,000円 (10ライセンス) ~

オプション

FALCON Webサービス : オープン価格
SSL : オープン価格

※オプションのFALCON Webサービスは、年内の出荷を目指し、現在開発中です。本稿で解説したFALCON Webサービスの機能は、開発中のものです。実際のリリース製品とは、画面や機能が一部異なる場合があります。

はじめに

ここ数年、大規模基幹システムにおいて、メインフレームからオープンシステムへの置き換えやオープン化が叫ばれています。実際、通信業や金融業など、いままでシステムに対して高信頼性を要求してきた企業でも、TCO削減やシステムの柔軟性、ビジネスプロセスの標準化などを理由に、メインフレームからオープンシステムに置き換えるというケースが出てきました。ただし、これはあくまで一部の企業に過ぎず、いまだにメインフレームをそのまま抱えて、置き換えやオープン化のめどすら立たないという企業も多いと思われる。

置き換えやオープン化が難しい要因として、「再構築/置き換えのコストが高い」「既存資産をそのまま利用したい」「既存のホストとオープンシステム間の連携/統合が難しい」など、さまざまな理由が挙げられることでしょう。

今回は、既存のホストシステムに対して一切変更を加えず、オープンシステムを構築できる「FALCON for .NET」をご紹介します。

製品の概要

FALCON for .NETは、サーバー導入型ホスト端末エミュレータです。いわゆるホストのダム端末をWindows PC上でエミュレートすることができます。対応ホストごとに4製品がリリースされており、表1に示すラインナップとなっています。

■基本機能

FALCON for .NETは、図1のようにWebサーバーにインストールすることにより、あらゆるデスクトップからブラウザを利用して既存のホストシステムにアクセスできる“Web to Host”を実現します。

クライアントからブラウザを利用して、FALCON for .NETがインストールされたWebサーバーにアクセスすると、Webサーバーは認証を行ない、クライアントに対してFALCON for .NETコンポーネント (ActiveX) が自動配布されます。クライアントは、このActiveXコンポーネントを利用してホストに接続することができます (図2)。また、ActiveXコンポーネントは、1度ダウンロードすればクライアントのPCに保存

表1：FALCON for .NETシリーズ製品

製品名	接続可能な ホスト
FALCON 3270 for .NET	IBMホスト
FALCON 6680 for .NET	富士通ホスト
FALCON 5250 for .NET	IBM AS/400
FALCON 560 for .NET	日立ホスト

されるので、2回目のアクセスからはWebサーバーを介さずに、クライアントから直接ホストにアクセスすることができます。

このように、クライアント側に必要な機能は、Webサーバー（FALCON for .NET）からダウンロードして利用するため、クライアントには何もソフトウェアをインストールする必要はありません。ホスト帳票／ダイレクト印刷やファイル転送／データ転送、ファンクションキーの操作性など、ホストシステムの機能をそのまま利用できます。

管理ツール

FALCON for .NETには、図3のようなサーバー用管理ツールが用意されており、容易にシステム管理を行なうことができます。この管理ツールは、ASP .NETで構築され、.NET Frameworkに対応しています。管理ツールの主な機能は以下のとおりです。

- ・ホスト接続／画面／機能設定、クライアントの登録
- ・クライアントのグループ管理（図4）、現在ホストに接続しているユーザーの閲覧（図5）
- ・リモート環境からWebブラウザで管理機能を設定／操作

管理ツールでクライアント別に利用できる機能（ActiveXコンポーネント）を指定し、クライアントに必要な機能

図1：FALCON for .NET

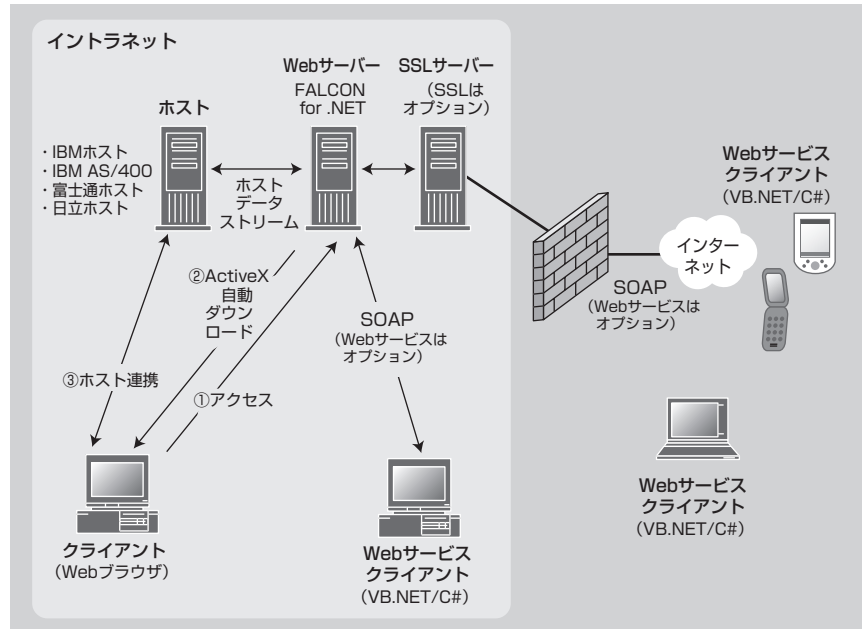


図2：Webブラウザクライアント（IE上に4セッションで接続）



のみをダウンロードさせることができます。クライアントに配布した機能は、管理ツールで一元管理され、サーバー側で設定が変更されるとクライアント側も自動的に設定が更新されます。これにより、メンテナンス作業を大幅に軽減できます。

■オプション機能

FALCON for .NETでは、このような基本機能のほかにもオプションとして以下の機能が提供されます。

FALCON Webサービス

ホストデータをWebサービスとして提供するオプションです。Webサービスを利用することにより、メインフレームのアプリケーションを変更せずに、既存のWindowsシステムなどの連携が可能です。

SSL暗号化

ファイアウォールの外のユーザーからホスト端末にアクセスする場合、インターネット上に実データが流れることになるので、暗号化が必要です。SSL